

オレゴン便り

発行:中野亜紀子

2012年

12月



富山ではもう、30cm以上の雪が積もったそうですね。私は、その週末、ホストファミリーに連れられ、マウントフッドのスキー場へ行っていました。雪質は、富山とは異なり、さらさらのパウダースノーでした。住んでいるマクミンビル市やシェリダン市、ポートランド市などは、めったに雪が降ったり積もったりしないのですが、マウントフッド周辺は、富山を思い出すほどの雪が積もっていて、懐かしく思っていたところに、富山から積雪の写真が送られてきて、びっくりしました。12月上旬に、そんなにも雪が積もるのは、何年ぶりでしょうか。富山の皆さん、運転、気を付けてくださいね。

サンクスギビングデー・レポート

前号でお知らせしていた、11月22日のサンクスギビングデーについて、まずはお伝えしたいと思います。

サンクスギビングとは日本語では「感謝祭」と訳されます。毎年11月の第4木曜日が、サンクスギビングデーで祝日となります。サンクスギビングは、イギリスからアメリカのマサチューセッツ州に移住したピルグリムファーザーズが、多くの作物が収穫されるこの時期に、神の恵みに感謝してご馳走を食べたことが始まりとされています。サンクスギビングの週末は、木曜日、金曜日と学校や会社が休みになります。私の勤める学校も、21日から5連休でした。日本のゴールデン・ウィークのようですね。この休暇は、家族や親戚で集まって過ごすことが多いそうです。そのため、帰省客で空港



が大混雑します。ハイウェイの道路も渋滞していました。この点では、日本のお盆休みや正月休みにも似ていますね。

サンクスギビングデーの伝統的な食事としては、ターキー(七面鳥)の丸焼き、ターキーにつけるクランベリーソース、マッシュポテト、パンプキンパイなどがあります。右の写真にパンプキンパイ以外、載っています。私は、パンプキンパイとアップルパイを、食後のデザートにいただきました。食後には、家族みんなでゲームをしたり、DVDを見たりして過ごしました。



また、翌日の金曜日は、ブラック・フライデーと呼ばれる、1年で最も大きなセールの日です。お店によっては、朝4時開店のところもあったそうです。

クリスマスに向けて



サンクスギビングデーが終わったとたんに次は、クリスマス・

シーズンの到来。マクミンビル市内では11月23日、クリスマスパレードが行われました。勤務先の学校の生徒も、ダンスチームの一員として、パレードで踊っていました。雨の中、たくさんの市民が見に来ていました。



クリスマスツリー・カッティング

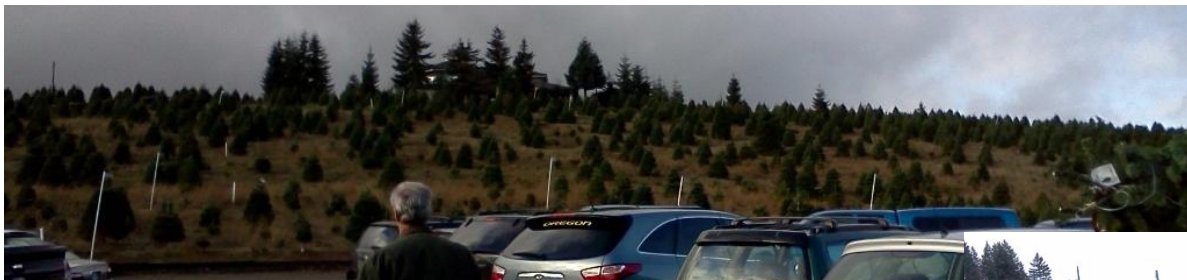


クリスマスが近づくと、日本でも通りがイルミネーションでライトアップされますよね。最近では、個人宅でもクリスマスに向けて、イルミネーションでライトアップする家も増えてきているようですね。しかし、この点では、さすがは本場、アメリカです。住宅街を運転していると、イルミネーションで飾られた家々の多いこと多いこと。その数の多さに、ただただ圧倒されてしまいました。この家も、あの家も、その家も……。自分が運転しているときは、なかなかじっくり見ることはもちろんできませんが、先日、ホストファミリーと大学のクリスマスコンサートへ出かけた際、ホストファミリーが帰り道に、住宅街を回ってくれ、美しいイルミネーションをじっくりと見せてくれました。見ていだけで、すごく楽しい気分になりました。

そして私は、クリスマスに向けて、ひとつ新しいことを体験してきました。本物のクリスマスツリーを切りに行ってきたのです。日本では、クリスマスツリーはイミテーションのものが普通ですよ。ここ、アメリカには、「クリスマスツリー・ファーム」という農場があり、そこでは本物のもみの木を栽培し、この時期に販売しているのです。ハイウェイを運転していると、“Tree Cut”と書いてある看板をよく見かけるようになり、さらに、車の上にもみの木を載せて走る車もたくさん見るようになりました。生徒の保護者に誘われて、クリスマスツリー・ファームへ行くまでは、よく事情を分かっていたいかなかったのですが、アメリカの人たちは、こうやって本物のもみの木を入手して、オーナメントでデコレーションをするのです。

私は、生徒とその弟とご両親と一緒に、シェリダンから車で30～40分ほど行ったところにある、大きなクリスマスツリー・ファームへ行ってきました。駐車場には、100台くらいは車が止まっていたと思います。まずは受付を済まし、のこぎりを借り、広大な敷地の農場を歩き回り、お気に入りの1本を探します。大きさ、高さ、形、色……。自分たちの気に入った1本を見つけると、その場で切り、タグを取り付け、受付まで運び、機械で一気にもみで縛ってもらい、お金を払って購入完了となります。確か、24ドルでした。そして、車に載せ、家に持ち帰るのです。私ものこぎりで切らせてもらいましたが、あまりにも硬くて、ほとんどお役に立てませんでした。その代わりに、ツリーを運ぶお手伝いをしました。(途中で、生徒のお母さんと交代しましたが……)

私が連れて行っていただいたファームには、クリスマスツリーに飾るオーナメントなどを売るお店も併設されており、店内は本当にたくさんの人たちでにぎわっていました。オーナメントの種類の数にも驚きました。



Sheridan Japanese Schoolでの取り組み(1学期の授業を終えて)

勤務先の学校では、12月の第1週に授業の中でそれぞれ、期末試験が行われ、12月7日で1学期が終わりました。そして、12月10日(月)から、2学期の授業がスタートしました。

1学期の授業では、小学4、5年生の日本文化の授業や選択美術の授業で、様々な日本文化を紹介しました。日本の国技、相撲を、映像などを見せて紹介し、折り紙で相撲とりを折ってトントン相撲をしたり、けん玉、お手玉、だるま落とし、こまなどの日本の昔遊びを紹介して、練習し、発表会をしたり、書道をしたり、紙芝居を紹介して作成したりしました。子どもたちのけん玉などの上達ぶりには驚かされました。練習をする前に、日本の小学生が上手にけん玉などの技を披露する映像を見せてから行ったのですが、自分も同じようにできるようになりたいと一生懸命練習している子どもたちの姿がとてもかわいらしかったです。技ができると、その都度、報告に来てくれ、披露してくれました。書道の授業では、生徒の英語の名前に漢字を当てはめてお手本を書いてあげると、うれしそうにその漢字を書く練習をしたり、自分の好きな言葉を日本語で書いたり、絵を描いたり、とても真剣に取り組む姿が印象的でした。

2学期は、年賀状を書いて日本の生徒と交換したり、おにぎりを作ったり、割り箸ペンでカレンダーを作ったりする予定です。このニュースターの中で、また紹介していきたいと思います。



11月28日で、オレゴン州に来て3ヶ月が経ちました。片道32キロのマイカー通勤にもようやく慣れてきました。アメリカに来て今、どんな日本食が恋しいか、聞かれることがよくありますが、ステイ先には、炊飯器も醤油もみりんも料理酒もだしの素も味噌もそろっているので、肉じゃがやごはん、味噌汁も頻繁に作って食べることができます。あえて挙げるとしたら、富山の新鮮なお刺身やお寿司を食べたいと心の中で思っていました。

しかし先月、ポートランドでカフェを経営しておられる日本人女性の方と知り合い、そのカフェ、**Behind the Museum Café**に行った時に、抹茶ラテや抹茶タルト、抹茶アイスに抹茶ブラウニーを発見し、すごくうれしい気分になりました。確かに、アメリカのスターバックスコーヒーに行っても、抹茶ラテなどは売られていません。日本語の授業でも、「好きな食べ物はチョコレートです。抹茶チョコレートが大好きです。」と自己紹介していた私にとって、このカフェの存在を知って抹茶ラテを久しぶりに飲むことができたのは、本当にうれしい瞬間でした。アメリカでも健康志向の高まりから、普通のスーパーにも豆腐が当たり前のように売られていますが、日本にあってこちらではなかなか手に入らないものはやはりあり、久しぶりに出会えるととてもうれしいものだと思います。**Behind the Museum Café**は、ポートランド美術館の裏にあり、先月、富山県から3週間の日程で派遣されていた県職員の方のお別れ会もこちらで行いました。オレゴン州政府職員の方々や、州政府OBの方々、ボランティアで通訳をしてくださった方々など、たくさんの方が集まり、とてもにぎやかな会となりました。



← 県職員の方のお別れ会



← 日本を感じさせる店内とメニュー

